

2006年9月、東横線元住吉駅が環境にやさしい駅に生まれ変わります

「鉄道最大級の太陽光発電システムの設置」「雨水の再利用」「駅構内の緑化」などを実施します

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄(本社:東京都渋谷区、社長:越村敏昭)では2006年9月、東横線元住吉駅(川崎市中原区木月)のリニューアルに伴い、環境に配慮したさまざまな設備を導入し、同駅が環境にやさしい駅に生まれ変わります。

同駅に実施する主な環境配慮項目は、次の3つです。

①太陽光発電システムの設置

ホームおよびコンコースの屋根部分に、鉄道の駅では国内最大級の発電電力(140kW)となる太陽光発電システムを設置します。なおホーム屋根の全長にわたって太陽光発電システムを設置するのは、鉄道業界では初めてのことです。このシステムにより、元住吉駅全体の最大使用電力の約15%をまかなえる見込みです。

また、ホーム屋根の一部には透光性の高いテフロン膜を使用し、自然光による快適さを提供します。

②雨水の再利用

ホーム下に雨水貯留槽を設け、ホーム屋根で受けた雨水をトイレの洗浄水として利用します。このシステムにより駅トイレ全体の使用水量の約25%をまかなえる見込みです。

③駅構内の緑化

コンコース改札正面部分(約200㎡)の緑化を行います。緑化部分はオープンスペースとし、憩いの場所として開放する予定です。

このほか、車椅子対応型エレベーターやエスカレーター、多機能トイレなど、各種バリアフリー整備も充実させます。

当社では、2007年度に予定している目黒線の日吉延伸に向け、東横線武蔵小杉～日吉駅間の複々線化工事を実施しています。今回のリニューアルはこの工事に伴う元住吉駅の高架化に合わせて実施するものです。

リニューアル後の元住吉駅の概要は次の通りです。

リニューアル後の元住吉駅の概要

○所在地	神奈川県川崎市中原区木月1丁目
○建物	地上3階建(改札口3階、ホーム2階)
○延床面積	約3,550㎡ (コンコース約1,060㎡、ホーム約2,240㎡、電気室約250㎡)
○緑化部分面積	約200㎡(コンコース改札正面部分)
○太陽光最大発電電力	140kW 設置面積: 1,182㎡ 太陽電池(セル)種類: 単結晶型

- 雨水利用量 2,140m³ (予想)
- ホーム 2面6線 (東横線4線、目黒線2線)
- エレベーター 3基
- エスカレーター 8基
- お客さま用トイレ 1か所 (多機能トイレを男女各トイレ内に設置するほか、車椅子をご利用のお客さまや、乳幼児をお連れのお客さまなどにも安心してご利用いただけるトイレとします)
- 1日平均乗降人員 57,836人 (2004年度・元住吉駅)

以 上

(参考1)

○元住吉駅完成イメージ



○改札前のイメージ



○ホームのイメージ



(参考2)

東横線武蔵小杉～日吉駅間の複々線化工事の概要

- 工事概要 東横線の混雑を抜本的に緩和するため、武蔵小杉～日吉駅を複々線化し、目黒線を日吉まで延伸(2007年度を予定)する工事です。同工事の完成により、日吉～多摩川～目黒～都心方面の直通運転が実施されます。
- 工事延長 2.3km
- 工事内容
- ①武蔵小杉～日吉間を複々線化します。
 - ②二ヶ領用水～武蔵小杉1号踏切道間を、既設線の上に高架橋を構築し上下2段の構造にします。
 - ③元住吉1号踏切道において本線を高架化し、踏切遮断時間の改善を図ります。
 - ④元住吉駅は6線2面ホームの高架駅として日吉方の車庫上部に移設し、出入り口はエスカレーター等の昇降設備を設け、現在とほぼ同じ位置に整備します。
 - ⑤主要地方道鶴見溝口は、道路を地上に、鉄道を高架に、位置を入れ替えます。
 - ⑥横浜市域は現在の線路に腹付線増し複々線化します。
- ※上記内容のうち、③④⑤は、川崎市との共同事業です。
- 着工 2000年4月
- 完成予定 2008年3月(鉄道工事)

以上